

積立金（基金）の状況

積立金は皆さんの家計で言う「貯金」に当たります。
そのうち、使い道が自由な財政調整基金の現在高は令和6年度と比較して、
6億9,290万5千円増加し、23億2,446万5千円となりました。

財政調整基金残高		市民一人当たりの 貯金額
令和5年度	16億8,651万8千円	14,170円
令和6年度	16億3,156万円	14,565円
令和7年度	23億2,446万5千円	21,029円
増減額（令和6年→令和7年）	6億9,290万5千円	6,464円

借入金（市債）の状況

借入金は将来に渡って使われる学校や道路などの公共施設を整備する場合等で、市が借り入れる資金のことです。
一般会計の市債残高は令和6年度と比較して11億6,748万3千円減少し、
511億9,240万3千円となりました。

市債残高		市民一人当たりの 借金額
令和5年度	526億8,855万3千円	464,355円
令和6年度	523億5,988万6千円	467,428円
令和7年度	511億9,240万3千円	463,133円
増減額（令和6年→令和7年）	▲11億6,748万3千円	▲4,295円

財政調整基金は、災害や社会情勢の変動など、不測の事態に対応するために行っている貯金です。

市債は、資金調達的手段ではありますが、財政負担の平準化を行うとともに、現在世代と将来世代の負担を公平に保つ機能を有しています。